Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和7年 10月 23日 中部圏広域地方計画推進室 (国土交通省中部地方整備局・中部運輸局)

新たな中部圏広域地方計画『中間とりまとめ(案)』を公表

中部圏広域地方計画協議会では、2050年、さらにその先の長期を見据えつつ、 今後概ね 10 年間の将来を見据えた中部圏の国土形成の方針及び目標等を示す、新 たな「中部圏広域地方計画」の策定に向けた検討を進めています。

中部圏広域地方計画は、国土形成計画法第9条に基づき国土交通大臣が定める広域地方計画で中部圏(長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の5県の区域)を対象としております。

国の関係機関、県、政令指定都市、経済団体など、50機関で構成された「中部 圏広域地方計画協議会」では、令和4年度より、新たな「中部圏広域地方計画」の 策定に着手し、有識者からご意見を伺いながら検討を進めてきました。

このたび、令和7年 10 月時点での検討状況を整理し、新たな「中部圏広域地方計画 中間とりまとめ(案)」を作成しましたので、公表します。

今後、圏域内市町村からの計画提案等を経て、今年度末頃(令和8年3月頃)の 計画策定(国土交通大臣決定)を目指し、引き続き取り組んでまいります。

(1) 添付資料

- ・中部圏広域地方計画中間とりまとめ(案)概要版
- ※中部圏広域地方計画 中間とりまとめ(案) については、中部地方整備局ホームページにてご覧下さい

https://www.cbr.mlit.go.jp/kokudokeisei/kouiki/r071023.htm

(2) 配布先

中部地方整備局記者クラブ、名古屋経済記者クラブ、東海交通研究会、長野県 庁内会見場、飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、 静岡県政記者クラブ、浜松市政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重第二県 政記者クラブ

〔問合せ先〕

中部圈広域地方計画協議会 事務局(中部圏広域地方計画推進室)国土交通省中部地方整備局

企画部 事業調整官 大竹 庸訓(おおたけ つねのり) 広域計画課長 山田 純弘(やまだ よしひろ) TEL052-953-8129

現状・課題

〇変化にとんだ地勢と豊かな自然環境 〇現代に息づく歴史、多様性に富んだ文化







(出曲) 写真40を其に中部地方整備局作成

○多極分散型の地域構造



〇ゆとりある生活環境

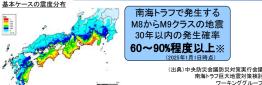


〇リニア中間駅を始めとした新たな広域圏形成



(出典)内閣官房「リニア開業に伴う新たな圏域形成に関する関係府省等会議」もとに作成

●南海トラフ地震の切迫



※発生確率は、地震調査研究推進本部(R7.9)による ●若者·女性の圏外転出 ●訪日外国人対応や観光 男女別の東京圏へ 年代別の東京圏への

三重県



産業の生産性向上 圏域別外国人延べ宿泊者数の割合

※令和6年確定値 (出典)国土交诵省 観光庁「宿泊旅行統計

産業等の強みの客観的な把握

- 中部圏は、産業別修正特化係数(生産額ベース)(データ①)をみると、「輸送用機械」 等の製造業に強みを有しており、ものづくり拠点として経済の発展に寄与。
- 例えば、輸送用機械の製品出荷額は、全国シェアの半分を中部圏が占めており(データ ②)、2050年カーボンニュートラル実現に向け、水素・アンモニアへのエネルギー転換ポ テンシャルがある。

<データ①:産業別修正特化係数(生産額ベース)*1> <データ②:製造業全体・輸送用機械における製造品出荷額全国シェア*2> (括弧内は生産額)



(※1)環境省、(株) 価値総合研究所「地域経済循環分析 (2020年試行版Ver 8.0) より作成、産業別修正特化係数と , は、地域内の産業出荷額のシェアと全国の産業出荷額のシェアを比較し、貿易を考慮した係数であり、同係数が1を超える ものが全国平均よりも強みのある産業 (集積している産業) といえる。

(※2)「2023年経済構造実態調査/製造業事業所調査(地域別統計表データ)令和7(2025)年1月16日訂正」より作成。

将来像·目標

【目指す中部圏の将来像】

中部圏で暮らす人々のWell-beingを向上するためのビジョン

生活の質が高く持続的に成長する強靱な中部圏

将来像を実現 するための 5つの観点

人々の暮らし

経済を支える産業

日本中央回廊の形成による国際競争力の強化

多様な自然資源を生かした国土管理

災害への備えや適切なインフラ管理

「目標1] すべての地域が魅力あふれる生活圏の創出 [目標2] ものづくりを礎に世界をリードし続ける産業への進化

[目標3] 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり

「目標4] 自然の恵みの保全と活用

「目標5]強靭な圏土の構築

自然

6車線 4車線 2車線 高規格道路(供用中 高钼格诺路 (事業由) 高規格道路 (知香中) 救债計画收納 (開業区間) 整備計画路線 (建設由区間 整備計画路線 (未着工区間) リニア中央新幹線 (建設中区間) リニア中央新幹線 (未着工区間)====== 基本計画路線 ミニ新幹線

地方管理空港 2050年の中部圏(将来像) その他の空港 3 首都圏 生活の質が高く との連携 島的に成長する強靭な中部 域的なバックアッ 体制の強化等による 近畿圏

環 太 平 洋 連 携

※高規格道路ネットワーク図については令和7年4月1日時点の情報。 また、首都圏、中部圏、近畿圏、札幌、仙台、広島、北九州、 福岡都市圏については、一部の路線を図示していない。

※本地図は我が国の領土を網羅的に記したものではない

広域連携プロジェクト

1. 暮らしやすさ地域力向上や

地域生活圏形成プロジェクト

●地域の個性を活かしたまちづくりや地域経済強化、関係人口の拡大を

農林水産業の活性化や地域生活圏の形成による地域力の向上





伊那地域定住自立國共生ビジョンのイメージ

美村プロジェクト

『伊那地域定住自立圏共生ビジョン』、三重県中南勢の5町による『美村プロジェク ト』など、新産業技術による地域課題の解決、地域ブランドの創出/移住定住の促進 によるエリア価値の向上等の、持続可能な地方都市に向けた取組の推進 など

2. 快適・安全安心な生活環境実感プロジェクト

- ●移動や仕事等の暮らしの様々な場面に おける効率性や利便性、安全性、地域 とのかかわりやすさ等の向上
- 誰もが快適で安全・安心な生活を実感 できる生活環境の構築

『岐阜県地域公共交通DX推進事業』等のAI オンデマンド交通やMaaSの導入検討 など



3. ひとづくり・つながり構築プロジェクト

- ●若者世代や女性、外国人など誰もが輝き 活躍する社会、多様な人材を育てる社会の
- 地域の担い手の活動の場の確保やTミュニ ティの再生、官民連携による多様な主体の 参画促進

『ふじのくにパスポート』による若者への継続的な 就職情報等の発信や、『はままつ起業家カフェ』に よる起業に関するワンストップ相談窓口などUIJ ターン人材を含めた地域に定着する人材の育成



4. 圏土強靱化プロジェクト

- ●産学官民の各機関が連携した防災・減災のハード対策
- ●広域的かつ実践的な地震・津波防災訓練等のソフト対策
- 事前防災から復旧・復興までの時間軸を考慮した対策
- ●ネットワークの多重性及び代替性の確保、首都圏バックアップ体制の強化 (事業例)

『流域治水プロジェクト』によりハード・ソフト一体となった事 前防災対策を加速、伊豆半島及び紀伊半島における災害 に強い基幹ネットワーク構築のため『伊豆縦貫自動車道』 『近畿自動車道紀塾線』の整備推進 など



伊豆維貫自動車道



新丸山ダム建設事業 流域治水のイメージ

5. 環境・国土サステナビリティプロジェクト

- ●ネイチャーポジティブの推進やカーボンニュートラル実現の取組推進
- ◆人口減少下の適正な国土利用・管理等、国土基盤の高質化
- 『矢作川・豊川CNプロジェクト』等、流域総合水管理の取組における再生可能工 ネルギーの創出 など



6. 世界をリードする産業進化プロジェクト

- ●高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創出
- ●国際競争に有意な産業構造への転換・基盤強化
- 戦略産業の強化、中堅・中小企業の振興





水素・アンモニア等の次世代エネルギーのサプライチェーン構築及び産業界での普及 促進に向けた『中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議』による連携・協働体制の 構築、『浜松湖西豊橋道路』『一宮西港道路』等、国際物流拠点とのアクセス向上に

様な産業が広地に集積する中部層において、経済性や供給安性、安全性を推案し、それぞれの実現分野や地域に経過となる 第中アンモニアのサブライチェーンを構築する。 # mbg I 11 SELVER IN MARKET поутання) порода намо REAL MARK IN SUTYWOOD 中部圏水景・アンモニア

サプライチェーンビジョン **板要** 【中部圏水素・アンモニア 社会実装推進会議

7. 日本中央回廊まんなか圏域拡大プロジェクト

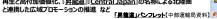
- リニア中央新幹線開業による新たな価値の創造や交通ネットワーク強化によ る圏域形成強化
- ●アクセス性の良さと住みやすさを活かし選ばれる地域としてのポテンシャル強化
 - ・『名古屋駅ターミナル機能の強化』、『リニア岐阜県駅 (仮称)』及び『リニア 名古屋駅ターミナル機能の強化 長野県駅 (仮称)』の新設、リニア駅周辺の面的整備など (名古屋駅駅前広場再整備の基本的な考え方)(名古屋市資料)

8. 新時代の観光交流促進プロジェクト

- ●MICE機能の拡充・強化や 国際的なスタートアップ・エコシス テムの構築
- ●マルチモーダルな周遊観光ルートの形成
- ■国際的な広域観光交流 (事業例)

との連携

・地域ならではの訴求性の高い体験コンテンツの造成、観光地や観光産業の 再生と高付加価値化、『昇龍道』『Central Japan』の名称による北陸圏



9. 他圏域連携プロジェクト

- ●大規模災害を見据えた圏土の強靱化
- ●日本中央回廊形成を見据えた広域ネットワークの強化
- 太平洋・日本海交流連携の強化
- 北陸圏、中部圏の産学官の関係機関が連携した産業進化にむけた半導 体に関する人材確保・育成に関する取組『中部地域半導体人材育成等 連絡協議会』 など





業界PRパンフレット】